

総合教育会議会議録

平成31年2月18日

平成30年度第2回坂井市総合教育会議会議録（概要）

日 時：平成31年2月18日（月） 午後1時30分より2時15分まで
場 所：坂井市役所 302会議室

【会議日程】

1 協 議

- (1)平成31年度坂井市教育委員会主要事業について
- (2)その他

【出席者】

坂本憲男市長、川元利夫教育長、田中典夫教育長職務代理者、牧田靖夫教育委員、
宮崎美恵子教育委員、若松静榮教育委員

教育部	吉川教育部長、由川次長(教育総務課長)、矢尾次長(国体担当) 杉田次長(文化課長)
学校教育課	橋本教育審議監、奥出課長
生涯学習スポーツ課	中田課長
丸岡図書館	齊藤館長
事務局書記	井尻参事、矢尾課長補佐

【会議概要】

市 長 第2回坂井市総合教育会議を開催する。
平成31年度坂井市教育委員会主要事業について、
事務局の説明を求める。

教育部長 平成31年度坂井市教育委員会主要事業について概要説明

各課長 平成31年度坂井市教育委員会主要事業について説明

- ①小中学校のICT環境整備について（教育総務課）
- ②新三国学校給食センターについて（学校教育課）
- ③小学校英語教科化に伴う指導体制の強化について（学校教育課）
- ④小中学校・図書館図書購入（増額）対応について
（学校教育課・図書館）

市 長 ただ今の説明について 意見・質問等はないか。
《意見・質問なし》

それでは、引き続き説明をお願いします。

- 各課長 引き続き、平成31年度坂井市教育委員会主要事業について説明
 ⑤福井しあわせ元気国体事業報告（国体推進課）
 ⑥スポーツ振興事業について（生涯学習スポーツ課）
 ワールドマスターズゲームズについて
 ⑦ハートピア春江大規模改修について（文化課）
 ⑧坂井市文化財保存活用地域計画の作成について（文化課）
 ⑨丸岡城天守の保存と安全性に向けて（文化課）
 ⑩みくに龍翔館リニューアルについて（文化課・みくに龍翔館）
- 市長 意見等はないか。
- 田中委員 丸岡城天守の耐震診断をすることによって、観光客が城の見学を出来なくなる期間等が生じてくるのか？
- 文化課長 耐震診断の時は大丈夫だが、工事のときには一定期間入場制限があると思う。公開をしながらの工事も検討している。
- 教育長 調査研究の成果の報告書を3月に出す予定であるが、市民にも知っていただき、文化庁にも提出する予定である。
- 文化課長 この調査において分かったことというのは幾つかあるので、別の機会に報告する予定である。
- 市長 ハートピア春江や、みくに龍翔館のリニューアル工事について、出来るだけ経費を抑えて行かないといけないと思っている。
 限られた財源の中で考えて行かなければならない。
- みくに龍翔館に坂井市全体の展示をするというのは、理想ではあるが、みくに龍翔館自体が、元々三国の龍翔小学校をイメージしているので、展示と合うのか疑問に思う。
- みくに龍翔館長 その部分も含めて、坂井市全体の博物館としてどうか、検討委員会で検討していきたい。
- 田中委員 ハートピア春江改修時の春江図書館の休館期間について
 もし、工事期間全体を通しての休館となると、年間30万冊の貸し出しがあると思うし、影響が大きいと思うが。
- 文化課長 ある一定期間については休館しないといけないが、それ以外は工事を区分けして実施する予定であるので、基本的には一年間図書館が休館になるということはない。

- 牧田委員 小中学校のICT整備について モデル校は。
- 由川次長 大関小と春江中をモデル校とする予定をしている。
学校から提案をしていただいた内容を基に選定した。
- 牧田委員 ワールドマスターズゲームズについて、オープン競技（ディスクゴルフ）が海浜自然公園で行われるということだが、公園の整備をするのか。海浜自然公園は樹木が沢山あり、確かにコースとしては面白いが、以前、ディスクがどこに行ったか分からなくなり、一苦労したことがあったので、整備したほうがいいかと思うが。
- 生スポ課長 オープン競技であっても、国際競技大会をしなければいけないことになっている。海浜自然公園は既存のコースがあるということで、会場となっているが、自然公園なので、あまり手を入れずに、できるだけ既存の環境を利用しながら、おもしろいコースというか、競技性を高められるようにやりたいと思っている。
また、海外からの選手を増やしたいという部分もあり、ゴルフ場等他会場にするなどを探しているところである。
- 宮崎委員 平成31年度には三国北小と大関小の新一年生が激減することについて、資料では、三国北小は27名となっているが、これだと2クラスになるのか。
- 審議監 現在、新年度を迎えて子どもの数の出入が激しい状況となっていて、三国北小は、今分かっている状況で31人となっている。36人にならないと2クラスにならないが、31人以上だと県費の低学年サポーターの先生を付けてもらえるので、担任の先生と低学年サポーターの先生の二人体制でスタートするということになる。
- 宮崎委員 27名から31名に増えたのは、県外からの転入か。
- 審議監 県外からの転入ではなく、坂井市の中とか、福井市からの流入等である。
- 牧田委員 ということは、大石小学校は30人だから担任の先生が一人ということか。
- 審議監 県費の低学年サポーターはつけてもらえないが、市費の支援員で小さい子の支援をするなど、各学校で工夫しながら対応していくことになると思う。詳細については、学校から聞き取りしながら、今後対応し

ていきたいと考えている。

教育長

児童生徒数は、三国地区が一番減少率が高く、春江地区が増加している。今後三年間にわたって、先生方の働き方改革とか部活動のあり方が問われている中で、中学校の部活動の顧問になる先生の数と生徒の数のバランスで、中学校の先生の数の二分の一、つまり一つの部活動を二人の顧問が見るという形で調整するという方向性が出されているので、今後、部活動の数が現在の3分の2になるということになる。自分の校区の中学校に入りたい部活動がなく、入りたい部活がある他の中学校に通うというような場合も今後出てくる可能性がある。

市 長

全体を含めて、他に何かないか。

市 長

これをもって、本日の会議を閉会する。